

## 第2回天文学史研究会および談天の会第41回例会 プログラム

日時：2008年12月19日(金) 13:30～18:00 続いて懇親会  
12月20日(土) 9:30～17:30

場所：同志社大学・今出川校地・至誠館3階 会議室  
京都市上京区今出川通り烏丸東入

講演と講演の間に10分の休憩を入れ、その前半を議論の時間に当てます。

2008年12月19日(金)

座長：谷川 清隆

- 13:30 - 13:35 世話人挨拶
- 13:35 - 14:15 武田 時昌・Gerhard Leinss (京都大学)  
「暦と迷信をめぐる新考察」
- 14:25 - 14:55 宮島 一彦 (同志社大学)  
「朝鮮製アストロラブについて」
- 15:05 - 15:35 全 勇勲 (京都大学)  
「朝鮮における時憲暦の施行とその意味」
- 15:35 - 16:00 休憩

座長：富田 良雄

- 16:00 - 16:30 岡崎 彰 (群馬大学)  
「ベトナムの旧暦について」
- 16:40 - 17:10 細井 浩志 (活水女子大学)  
「陰陽寮と天文暦学教育」
- 17:20 - 17:35 山本 一登 (国立天文台)  
「『日本天文学史』の公開」
- 17:45 - 18:00 相馬 充・谷川 清隆 (国立天文台)  
「七世紀の日本の天文学」
- 18:20 - 懇親会

2008年12月20日(土)

座長：岡崎 彰

- 09:30 - 10:00 中根 美知代 (立教大学)  
「ハミルトン・ヤコビ理論の形成と19世紀の天体力学」
- 10:10 - 10:40 横尾 広光 (杏林大学)  
「札幌クラーク博士の天文人脈と宮沢賢治・隕石学位論文」
- 10:40 - 11:00 休憩
- 11:00 - 11:30 作花 一志 (京都情報大学院大学)  
「曜日の起源と具注暦」
- 11:40 - 12:10 長谷川 一郎 (東亜天文学会)  
「今井 (いたる) について」

---

12:10 - 13:30 昼休み

---

座長：作花 一志

- 13:30 - 14:00 西村 昌能 (京都府立洛東高校)  
「わが国における用語『地球』と『天球』の拡がりについて」
- 14:10 - 14:40 中桐 正夫 (国立天文台)  
「国立天文台天文情報センター・アーカイブ室立ち上げ」
- 14:50 - 15:20 富田 良雄 (京都大学)  
「歴史的望遠鏡のCG復元により見えてきたこと」
- 15:20 - 15:40 休憩

座長：横尾 広光

- 15:40 - 16:10 大西 道一 (元大阪電気通信大学)  
「伊能大図の天測点と象限儀の目盛」
- 16:20 - 16:50 藤原 智子 (九州大学)  
「Tycho Brahe 『Astronomiae Instauratae Progymnasmata』  
の恒星表について」
- 17:00 - 17:30 嘉数 次人 (大阪市立科学館)  
「高橋至時と地動説」